

平成30年度第2回健康食品管理士会東北支部会研修会および市民公開講座のお知らせ

参加費は無料です。皆様お誘い合わせ、ご参加いただけますようご案内申し上げます。

記

日時：平成30年12月2日(日) 13時30分～16時00分

場所：東北福祉大学

〒981-8523 宮城県仙台市青葉区国見1丁目19番1号

東北福祉大学 ステーションキャンパス <http://www.tfu.ac.jp/aboutus/stationcampus.html>

仙台市営バス「JR東北福祉大前駅」バス停下車 徒歩0分

JR仙山線 「東北福祉大前」駅下車 徒歩0分

内容：

13時00分 受付

13時30分 開会の挨拶 東北支部長 杉澤 淳

13時35分 講演 「気をつけよう！健康食品とくすりの飲み合わせ」

北市 清幸 先生(岐阜薬科大学 薬物動態学研究室 教授、日本食品安全協会 理事)

講演概要：「健康で健やかな人生を長きに渡り続けることはすべての人の願いです。そんな健康をサポートするとの名目で様々な健康食品が世間に溢れています。しかし、それは玉石混交。健康を損ねる製品も存在します。また、くすりを飲まれる人には健康食品との「飲み合わせ」についても注意を払う必要があります。本講演では、健康食品にまつわる様々な情報、健康被害の実例紹介、くすりとの飲み合わせ、健康食品を使う際に何を注意すべきか、等を薬剤師、健康食品管理士の立場から皆様にお話します。」

14時35分 質疑応答

14時40分 休憩

14時50分 講演「女性が気をつけたい病気の予防と治療—更年期の過ごし方とがん予防と免疫について—」

小澤 信義 先生 (おざわ女性総合クリニック院長)

講演概要：「ノーベル生理学・医学賞受賞した本庶佑先生の研究は画期的なものでした。免疫チェックポイント阻害薬（オプジーボ）は今までにない効果を示しています。近年では全国で年間約100万人ががんと診断され、宮城県でもがん患者が年々増加しています。乳がんは40年間で約6倍に増加し、子宮がんも増加しています。免疫力は年齢とともに低下してきます。20歳がピークで、40歳で約半減するとも言われています。免疫力を落とさないようにして、如何に癌を予防するか、私見を交えながら、お話をさせていただきます。」

15時50分 質疑応答

15時55分 閉会挨拶